

第14回

構造形態の解析と創生

2019

Colloquium2019
Analysis and Generation of Structural Shapes and Systems 2019

《開催趣旨》

近年の建築の設計プロセスにおける3D-CADやBIMの利用は、意匠、構造、設備、施工の連携を強め、また、これまで不可能であった複雑な形態の構造物の建設も可能にしました。また、デジタル・ファブリケーションの技術が普及し、建築のデザインに大きな変化を与えています。実現可能な建築表現の自由度が急速に増すなかで、建築物の形態をどのように決定すべきかという問題について、今後更に深く考えていく必要があります。

本コロキウムは2006年度から毎年開催しており、今年で14回目を迎えます。これまでに、構造形態創生、構造最適化、アルゴリズム・デザインといった建築構造物の形態を創り出すための理論・技術に関する研究や、実際のデザインへの応用事例などが数多く紹介され、活発な議論が展開されてきました。これらの理論・技術は一過性のものでなく、本質的なニーズの上に成り立った重要な建設技術であり、新しいコンセプトや最新のアルゴリズムなどを取り入れながら、議論を重ねて今後も発展させていく必要があります。

本年度開催する「第14回 コロキウム構造形態の解析と創生2019」では、これまでと同様に形態創生の理論・技術に関わる研究者、技術者が一堂に会して最新の情報を交換すると同時に、理論・技術だけでなく、それらを具体的な建築物、プロジェクトなどに応じた事例紹介についても議論することで、これらの研究・技術分野が益々発展することを期待して開催されます。

《開催概要》

〈日時〉 2019年**10月31日**(木), **11月1日**(金)

〈場所〉 日本建築学会 **建築会館ホール**(東京都港区芝5-26-20)

〈主催〉 日本建築学会
構造委員会 シェル・空間構造運営委員会：構造形態創生小委員会
構造委員会 応用力学運営委員会：構造最適化と設計小委員会

〈参加費〉 ・建築学会会員：8,000円(資料集代含む)
・学生：3,000円(資料集代含む)
・会員外：10,000円(資料集代含む)

〈資料集代〉 3,000円/個(USBメモリ)

〈懇親会〉 日時：**10/31**(木)、参加費：一般5,000円、学生1,000円、会場：建築会館

〈参加登録〉 下記URLにて申し込みください。参加する個人ごとに申し込みが必要です。
参加登録フォームURL：<https://bit.ly/2m4Vvco>
「コロキウム 参加」「懇親会 参加/不参加」「氏名」「所属」「連絡先」を記入してください。申込期限は**10/21**(月)です。
懇親会の当日キャンセルはご遠慮ください。
キャンセルの場合にはなるべく早めにご連絡ください。

《特別講演》

2019年**10月31日**(木)

13:25-14:10 杉田宗(広島工業大学)
「デジタルデザインによる拡張」

14:20-15:05 藤村龍至(東京藝術大学)
「ちのかたち 建築形態の解析と創生の接続について」

《形態創生コンテスト2019プレゼンテーション・公開審査》

2019年**10月31日**(木) 「**バイオミミクリーが生み出す形態**」

15:10-16:30 プレゼンテーション 審査委員長 加藤史郎 (豊橋技術科学大学名誉教授)

審査員 市川創太 (ダブルネガティブスアーキテクチャー、都市研究室エイチシーラボ)

16:40-17:30 公開審査 佐藤 淳 (東京大学)
三井和男 (日本大学)

特別審査員 杉田 宗 (前掲)
藤村龍至 (前掲)

《講演論文発表》

2019年**11月1日**(金) 9:00-17:00 全22講演(予定)